



旗やプラカードを手に護憲を訴えながら行進する参加者たち=19日、富山市内で

安保法制に反対

市民団体が集会

5/20 14時 JR富山駅前

自衛隊の活動範囲を拡大させる安保関連法案に反対する富山県民集会が十九日、JR富山駅前であった。県内の労働組合や市民団体などから約三百五十人が参加し、集団的自衛権の阻止や護憲への強い思いを街中で訴えた。

県平和運動センターや自由法曹団県支部など県内の三団体でつくる実行委員会が開催。集会では、主催者

安保関連法案 反対訴え行進
富山で集会

県内の市民団体などで行った「戦争する国」づくり反対共同行動実行委員会の「戦争立法阻止！県民集会」が19日、

申込ありません
私の発表は
参加者は実際
420人
でした!!



富山市のCIC前であり、参加した約350人が新しい安全保障関連法案への反対を訴えた。写真。

呼び掛け人を代表し、土井由三元小杉町長が「子どもたちを戦地に送ってはいけません」と訴え、岡崎信也(社民)、火爪弘子(共産)両県議、田中悌夫富山大学空襲を語り継ぐ会代表幹事、丸山哲司弁護士があいさつした。「平和憲法をこわす「戦争立法」に断固反対する」という集会アピールを採択。山崎彰県平和運動センター議長の下で「がんばろう」と声を合わせ、デモ行進した。

もう一度噛みしめたい 文太さんの言葉

平和を希求してこられた方々が次々と亡くなっていく。昨年末、菅原文太さんも宝の言葉を残し逝ってしまわれたが、沖縄知事選での言葉はギン臭い今、さらに沁みる一語。

政治の役割はふたつあります。ひとつは国民を飢えさせないこと、安全な食べ物を食べさせること。もう一つは、これが最も大事です。絶対に戦争をしないこと！

今の政府と仲井真知事。沖縄の風土も、本土の風土も、まさに戦争が起きるところ。土も、海も山も空も風と、戦争をすることを前提も、すべて国家のものではない。前知事にも、沖縄を考えていた。前知事にも、今、最も危険な政權と手を結んだ。沖縄の人々、辺野古も、勝手に他国へ売り飛ばさないと、辺野古を売り渡した。ないでくれ。



そうは言っても、アメリカにも良心厚い人々はいます。中国にもいる。韓国にもいる。その良心ある人々は、国が違え、同じ人間だ。みな、手を結び合おうよ。

- 25(月) 志賀訴訟口頭弁論 3:00 金沢
- 26(火) 公共交通幹事会 13:00 自治法会館
- 27(水) 公署北 談キヤウ 13:00 自治法会館
- 29(金) さわやかコンサート 19:00 市民7541

(杉原雄介)